

みんながワクワク!

袋小だより

令和4年度11月号

校長 徳成 聡

令和4年11月29日

◎「学習発表会」お世話になりました

11月19日(土)に実施しました学習発表会には、多くの保護者の皆様や地域の皆様にご参加いただきましてありがとうございました。子供たちの様子はいかがだったでしょうか。子供たちの一生懸命な姿をご覧いただけたのではないかと思います。提出いただいたアンケートにも「頑張っていた」「感動した」等の感想を多くいただきました。

発表の中では、一生懸命やっていた子供が勢い余って間違えてしまった場面がありました。しかし、担任がすかさずフォローし、その後、その子供が、また一生懸命取り組む姿が見られました。その様子を見ていて、とてもいい場面だなあと感じました。

「一生懸命やった結果の失敗、間違いはOK(成長につながる)」「一生懸命取り組むことなく、失敗も成功もないことはNG(成長につながらない)」と常々感じています。その点でも、今回の学習発表会を通して、子供たちは、また一つ成長したのではないかと思います。

次の月曜日の朝、ある子供が「お母さんが、よく頑張ったねと言ってくれました」と話してくれました。学校で取り組んだことを、ご家庭で認めていただくことで、更に教育効果が高まると思います。これからも、ご家庭と力を合わせて教育に当たっていきたく思います。よろしくお願いたします。



1年生の発表



感想発表の様子

あいさつ、返事、コミュニケーション

以前の学校便りにも掲載しましたが、

あいさつ：「おはようございます」「こんにちは」

返事：名前を呼ばれたときの「はい」

コミュニケーション：聞かれたことに正しく答える会話の力

について継続して指導しています。

保護者の皆様もご承知の通り、これらは、社会で生きていく中で基本的なスキルだと思います。このことをご家庭と共有し、学校でも、場面場面に応じて、繰り返し指導していきます。

6年1組研究授業

11月9日(水)に6年1組で研究授業を行いました。算数「比例」の学習です。内容は、日常生活に比例の学習を生かそうというものです。

世界中には、ワクチンを接種することができず、亡くなってしまいう子供が多くいます。そのような子供たちへ、ワクチンを送るために、ペットボトルキャップを集める運動がありますが、ポリオワクチン1人分を送るために必要なペットボトルキャップの数は、約何個かご存じですか?。800個です。

授業では、2人分の1600個について「どうやったら簡単に約1600個を取り出すことができるか」という日常生活の課題に取り組みました。子供たちからは、次のような考え方が出されました。

- ㊦ 1個分の長さを測り、その1600倍分横に並べる。
- ㊧ 1個分の重さを測り、その1600倍分の重さを取り出す。
- ㊨ 1個分の重さは正確に測れないので、10個分の重さを測り、その160倍分の重さを取り出す。

どの考え方も「比例」の考え方をしています。ただ、実際に活用しやすいのは㊨の考え方でしょうか。

子供たちは、算数を活用して、日常生活の課題解決に向けて考えました。学習のための学習ではなく、生活に生かすための学習が重要であることを改めて実感した授業でした。



重さを測る様子